

第35回ひなまつり展

3月3日の雛祭りは、雛人形を飾り、桃の花や菱餅などを供えて、女子の幸福や健やかな成長を祈る行事です。人形(ひとがた)を身代わりとして、災厄や穢れを流し浄める「上巳の祓」という行事と、朝廷貴族の子女が行った紙人形遊び「ひいな遊び」が融合し、江戸時代に誕生しました。明治時代頃から一般に広がって以来、時代や社会の移り変わりにあわせて形を変えながら現代まで続いています。

今回は、町指定重要文化財の永徳齋作有職雛など、江戸時代以降の伝統的な雛人形だけでなく、あまり見慣れない様々な様式の雛にもスポットを当てて展示します。それぞれのお雛様に込められた想いや願いを感じながら、ゆったりとしたひとときをお楽しみください。

ちょっとかわった ユニークなお雛様まで大集合!



掛雛(雛段の図) 昭和前期



内裏雛(有職雛) 明治末期 永徳齋作



永徳齋作有職雛 段飾り

※すべて当館蔵



昭和の茶の間 再現展示

懐かしいむかしの道具展

今より少し昔、昭和時代の人たちのくらしはどのようなものだったのでしょうか。昭和の様々な生活道具を展示し、昔のくらしや知恵を紹介します。

当時を懐かしんだり、昔の道具に親しみを感じたりしてみませんか?

さわって使って体験!

ハンズオン展示



あんか

手足を温める移動式暖房具。炭火を入れ、薄い布団などをかけて使いました。



火のし

昔のアイロン。炭火を入れ、底の平らな部分で衣類などのしわをのばしました。



手回し洗濯機

洗濯物、お湯、洗剤を入れてハンドルを回すと、空気の高圧力で汚れが落ちます。



氷冷蔵庫

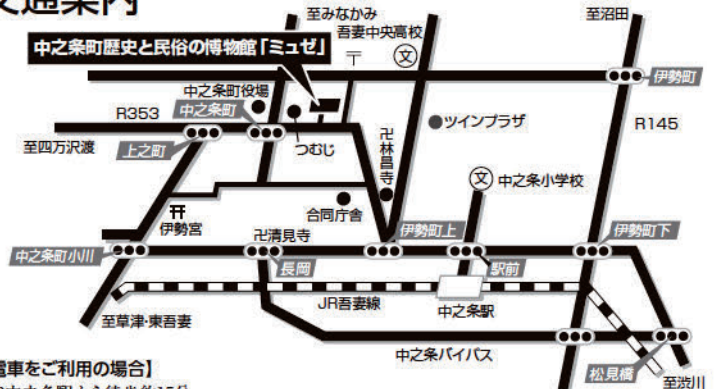
二段式で、上の段に氷を入れると、下の段に冷気が降りて食べ物が冷やせる仕組みです。



黒電話

ダイヤル式の電話。交換手を通さず直接通話できるようになりました。企画展では、実際に通話体験もできます。

交通案内



【電車をご利用の場合】

・JR中之条駅から徒歩約15分

・JR中之条駅から関越交通バス(四方温泉行または沢渡温泉行)約5分、「博物館前」下車

【車をご利用の場合】

・関越自動車道 渋川伊香保ICから約40分(駐車場 約20台)